

令和2年度

事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益財団法人古都大宰府保存協会

定款に定める事業

1. 歴史的風土及び文化財の保存に関する調査研究及び知識の普及啓発
2. 史跡整備地の維持管理
3. 大宰府展示館の管理運営
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

事業体系

I. 公益目的事業 P1～5

1. 史跡保存に関する広報普及 (P1～2)
2. 史跡整備地維持管理、およびその有効活用 (P2～4)
3. 太宰府市立大宰府跡遺構保存覆屋 (大宰府展示館) の管理運営 (P4～5)
4. 文化遺産を活かした観光振興、地域活性化事業 (P5)

II. 収益事業 P5

1. 史跡解説パンフレット・書籍等の製作・販売

III. その他の事業 (相互扶助等事業) P6

1. 会員向け事業

IV 法人管理 P6

I. 公益目的事業

1. 史跡保存に関する広報普及

(1) 史跡保存広報普及活動事業

①史跡解説、研修講座

項目	ねらい・内容
ボランティア 大宰府史跡解説員 による史跡解説	<p>太宰府を訪れる方々に対し、市内及び周辺史跡等の解説を行い、文化財の大切さや保存への理解を深めていただくことを目的とする事業。近年、学校や地域の学習活動の一環としても史跡解説員を活用していただき、次世代を担う子供達に対してもその活動を行っている。予約による案内解説のほか、大宰府展示館・水城館・太宰府館における解説などを実施する。</p> <p>この事業を実施するにあたっては、当財団がボランティア大宰府史跡解説員の養成、委嘱を行いその活動支援を行っている。プロジェクトチーム制を導入し、新規案内コースの企画立案や学校支援プログラムの作成をして協会HPに掲載するとともに、解説スキル・配布資料の検討、ベテラン解説員から若手へのノウハウ継承などを解説員と事務局が共に行い活性化を図る。</p> <p>令和以後激増する史跡観光案内の依頼に対し、依頼者と綿密な調整を行いながらボランティアとのマッチングを行うと共に、双方の要望・課題を集約し、解決していくことで、より満足度の高い事業となるよう努めている。</p>
史跡解説員研修	<p>大宰府史跡解説員を対象に、史跡解説員の資質向上と事務局との親睦を深めるため講座を行う。年2回実施</p>
解説員養成講座	<p>太宰府を訪れる観光客の増加、また学校教育支援における解説依頼の増加などに対応するため、新規解説員を養成するための講座を行う。</p> <p>5月～2月 全11回</p>

②史跡めぐり講座、公開講座等

事業名	ねらい・内容
もっと知ろう 太宰府講座	<p>太宰府の歴史や史跡を知るとともに周辺地域の歴史や史跡を学習することで大宰府史跡の理解・文化財保護の関心を深めることを目的とした講座。</p> <p>6月～11月 全4回実施予定</p> <p>① 6月20日(土) ② 8月22日(日) ③ 9月26日(土) ④11月28日(土)</p> <p>講師/ 未定</p>
史跡めぐり	<p>太宰府の歴史や史跡を知るとともに周辺地域の歴史や史跡を現地に行って学習することで大宰府史跡の理解・文化財保護の関心を深めることを目的とした講座。</p> <p>10月～12月 全3回実施予定</p> <p>①10月31日(土) ②11月14日(土) ③12月19日(土)</p> <p>講師/ 大宰府史跡解説員</p>

『都府楼』 発刊記念講演会	より多くの人に「太宰府」を理解してもらうことを目的とし、年1回発行している協会の機関誌『都府楼』の第52号発刊に合わせ講演会を実施するもの。
------------------	--

③太宰府文化発信事業

事業名	ねらい・内容
太宰府検定 活用事業	「太宰府のもつさまざまな魅力を伝えたい、そして太宰府を好きになってほしい」というコンセプトのもと、平成30年度まで実施してきた「太宰府検定」であるが、その検定でストックした問題を地域別、難易度別等に分類・整理するとともに、その程度に合わせ学校教育活動や自治会の勉強会など地域で幅広く問題を活用し広報普及につなげていく。 当財団の職員を派遣して行う出前講座の他、太宰府の広報普及を目的とする団体等に対し問題の提供を行っていく。

2. 史跡整備地維持管理、およびその有効活用

(史跡整備地維持管理事業)

①整備・維持管理

事業名	事業内容	回数
草刈作業	政庁全般（片付けあり4回・片付けなし1回）	5
	月山（西）東屋周辺	5
	坂本への道両側	(R2年度 回数増) 5
	国有地（坂本八幡宮前）	5
	ツゲ植え込み外回り	5
	日菅寺（西側）東屋周辺及び県発掘事務所下トイレ周辺	5
	濠北側樹木の中	5
	日菅寺前広場（植木の中含む）	5
	旧発掘事務所跡（植木の中含む）	5
	八ツ橋周辺及び東屋周辺（あじさい園含む）	(R2年度 回数増) 5
	月山官衙跡（展示館東側）及び展示館前面・県道沿い植え込み	5
	月山東側官衙跡（A）	5
	月山東側官衙跡（B）	5
	来木官衙跡	3
	田惣跡地・ソバ畑周辺	4
	坂本八幡宮・倉庫周辺	4
	月山東官衙跡隣接地	4
	学校院跡（剪定1回・後片付け含む）	5
	観世音寺周辺及び東側県道沿い	5

	観世音寺僧坊跡及び僧坊跡北側	4
	金光寺跡	3
	水城跡	5
	水城館周辺（第2広場含む）	4
	水城館隣接地	2
	国分寺・国分瓦窯跡（国分ストア裏含む）	5
	蔵司前面（上段・下段）（通学路ゴミ搬出含む）	5
草取作業	政庁全般 南門上（正殿、西脇殿、東脇殿、西回廊、東回廊、南門跡他）	各3
	政庁全般 南門下	5
	金光寺跡	3
	月山東側官衙跡（A）	3
	月山東側官衙跡（B）	4
	月山官衙跡（展示館東側）	4
樹木の消毒	管理域	虫害発生時
樹木の剪定	水城跡展望台及び周辺雑木（R2年度新規）	1
	政庁跡築地西下梅（隔年実施）	1
	政庁跡上段築地ツゲ	1
	政庁跡正面生垣、濠沿いつげ等	1
	坂本への道両側桜・梅・もみじ	1
	坂本八幡宮前国有地東斜面ツツジ	1
	坂本八幡宮前国有地梅（隔年実施）	1
	坂本八幡宮南（市管理地）梅	1
	日管寺西下トイレ周辺サザンカ・ツツジ等（R2年度新規）	1
	観世音寺周辺	1
	国分寺跡周辺	1
	蔵司上段ツゲ、下段アジサイ等	1
	濠沿い北側雑木	1
水路整備	蔵司側水路・月山側水路の清掃、除草及び廃土作業	1
整備作業	その他の小整備	年間
花見誘導	4月初旬、3月下旬桜花見車誘導	
史跡地保全	そば関連（種まき・耕耘 他）	
請負工事	臨時小工事	

②万葉植栽ボランティア活動

事業名	事業内容
万葉植栽	育苗畑・万葉菖蒲園管理、戒壇院前植栽管理 万葉植栽ボランティアを対象とした勉強会及び研修会の実施 活動日/ 4～3月（8月を除く）第1・3水曜日

③講座等

事業名	ねらい・内容
そばの種まき	史跡地内でのそばの種まき作業を通して自然と触れ合うことを目的とした講座。自分たちでまいた種が史跡地を彩る喜びを味わってもらおう。 実施時期/ 4月19日(日)・8月23日(日)
薬草講座	史跡地を活用して先人から受け継がれてきた身近な野草の薬効について学ぶと共に、最新の知見による正しい薬草の使い方の知識を身につける。 実施時期/ 5月16日(土)
樹木講座	史跡地内の樹木を中心とした自然観察を行い、自然に触れ合いながら史跡地についての知識を増やし、大切に守り育てることの大事さも理解してもらおう。夏は講義の後、政庁跡及びその周辺の梅の実ちぎりも楽しんでもらう。 実施時期/ 5月23日(土)・11月7日(土)
そば打ち講座	史跡地有効活用の一環で、万葉植栽ボランティアの協力のもと収穫されたソバを使い行う講座。太宰府で収穫された薫り高いソバを味わっていただく。 実施時期/ 11月21日(土)

3. 太宰府市立大宰府跡遺構保存覆屋（大宰府展示館）及び水城館（大宰府展示館分館）の管理運営

①管理運営

事業名	事業内容
大宰府展示館	年間を通して大宰府展示館の管理を行う (1) 館内清掃 床(月/1回)・害虫駆除(年/1回)・エアコン(年/6回)・蛍光灯(年/1回) 換気扇(年/1回)・外壁(年/1回)・屋根(年/2回) (2) 警備保障 防犯・火災監視(年間) (3) 消防設備点検 総合点検(9月)・機器点検(3月) (4) 清掃用具借料 館内マット交換(週/1回)・モップ交換(週/1回) (5) 入館料の徴収
水城館	年間を通して水城館の管理を行う (1) 館内清掃 床・窓 (2) 警備保障 防犯・火災監視(年間) (3) 消防設備点検 総合点検(9月)・機器点検(3月) (4) 清掃用具借料 館内マット交換(隔週) (5) 映像及び展示物保守

②常設展示

事業名	事業内容
大宰府展示館	特別史跡大宰府跡の発掘で出土した溝をそのまま保存・公開するとともに、大宰府の歴史を紹介する資料を展示する。

水城館	特別史跡水城跡について理解していただくための、パネルや映像を使用した展示コーナーの維持管理を行う。
-----	---

③企画展示・イベント

事業名	事業内容
大宰府展示館	大宰府展示館を拠点とした「大宰府政庁跡周辺」定例散策を実施する。 毎月第2日曜日実施 【企画展示】 大宰府展示館開館40年記念・大宰府史跡指定100年記念 古写真パネル展（仮） 内容/ 大正10年に国の史跡に指定されて100年を迎える大宰府政庁跡のこれまでを古写真や資料を用いて振り返る。本年度、開館40年を迎える大宰府展示館の記念展示を兼ねる。 開催/ 令和2年10月～令和3年3月（予定）
水城館	水城館を拠点とした「水城堤」定例散策を実施する 毎月第3日曜日実施

4. 文化遺産を活かした観光振興、地域活性化事業

(地域伝統文化総合活性化事業)

事業名	事業内容
文化遺産を活かした地域活性化事業	「大宰府地方における歴史的風土及び文化財の保存及び活用」という当財団の目的にてらし、太宰府市域内に所在する文化遺産（景観も含む）を調査し、あわせてその文化遺産情報を広く公開する事業を市の受託事業として平成29年度まで行い終了したが、これまで調査した情報を活かすべく、地域が行う学習会へのサポート、また太宰府市のホームページを通して広く一般の方へ文化遺産の情報公開を行うなど、広報普及の一環として事業を継続する。

II. 収益事業

1. 史跡解説パンフレット・書籍等の製作・販売

事業名	事業内容
書籍の製作等	大宰府史跡及び太宰府の歴史・文化に関連する書籍の製作。 来館記念オリジナルグッズの製作。
財団発行図書の販売	財団で製作した書籍・パンフレット等の販売。
委託販売図書の販売	外部で製作された関連書籍を預かり販売。

Ⅲ. その他の事業（相互扶助等事業）

1. 会員向け事業

事業名	事業内容
会員会報	会員会報「古都たより」は年 3 回を予定。協会事業の現状や行事の案内、会員からの寄稿文など身近な大宰府関連情報の発信を行う。
史跡地清掃活動	保存協会の会員・一般市民に呼びかけ、大宰府の史跡地（政庁跡他）の清掃活動を行う。清掃活動を通じて、文化財の保護意識を高めてもらう。
会員現地研修	会員の史跡・文化財に対する理解を深め、親睦を図るため史跡等を訪ねて、現地見学を行う。日帰り研修 1 回、宿泊研修 1 回。
会員総会	会員総会（年 1 回）を開催し、協会の事業計画及び予算・決算の報告を行う。合わせて講演会を行い、会員募集の場として、非会員の方へも財団の広報を行う。本年度は、大宰府展示館開館 40 年・大宰府史跡指定 100 年を記念した記念講演会を実施予定。

Ⅳ. 法人管理

役員会の開催

予算執行に関する業務及び事業報告・精算業務

定款及び規定等の制定改廃に関する業務

人事・福利厚生に関する業務

財産管理業務

関連団体との各種調整

令和2年度

収支予算書 (正味財産増減計算書)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益財団法人古都大宰府保存協会

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	合計	前年度予算額	増減
	公1	収1	他1					
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	2,000	2,000	2,000	0	
基本財産受取利息				2,000	2,000	2,000	0	
受取会費	0	0	1,300,000	0	1,300,000	1,368,000	△ 68,000	
法人受取会費			250,000		250,000	340,000	△ 90,000	
個人受取会費			1,050,000		1,050,000	1,028,000	22,000	
受取受託金	26,299,000	0	0	0	26,299,000	25,823,000	476,000	
史跡管理受取受託金	16,461,000				16,461,000	14,948,000	1,513,000	
史跡広報受取受託金	813,000				813,000	1,383,000	△ 570,000	
大宰府展示館指定管理受取受託金	3,269,000				3,269,000	3,931,000	△ 662,000	
水城館指定管理受取受託金	5,756,000				5,756,000	5,561,000	195,000	
事業収益	150,000	1,600,000	0	0	1,750,000	4,414,000	△ 2,664,000	
受講料収益	150,000				150,000	250,000	△ 100,000	
図書販売収益		1,500,000			1,500,000	3,970,000	△ 2,470,000	
販売手数料収益		100,000			100,000	194,000	△ 94,000	
受取補助金	15,537,000	2,944,300	2,491,300	5,888,400	26,861,000	19,832,000	7,029,000	
県補助金収益	4,213,000				4,213,000	4,213,000	0	
市補助金収益	11,324,000	2,944,300	2,491,300	5,888,400	22,648,000	15,619,000	7,029,000	
受取負担金	0	0	1,689,000	0	1,689,000	1,445,000	244,000	
会員受取負担金			1,689,000		1,689,000	1,445,000	244,000	
大宰府検定受取負担金					0	0	0	
受取寄付金	0				0	0	0	
受取寄付金	0				0	0	0	
雑収益	55,000	0	0	0	55,000	141,000	△ 86,000	
受取利息	5,000				5,000	5,000	0	
雑収益	50,000				50,000	136,000	△ 86,000	
入館料収益	5,520,000	0	0	0	5,520,000	7,820,000	△ 2,300,000	
大宰府展示館入館料収益	5,520,000				5,520,000	7,820,000	△ 2,300,000	
大宰府展示館事業収益	96,000	0	0	0	96,000	0	96,000	
販売手数料収益	96,000				96,000	0	96,000	
経常収益計	47,657,000	4,544,300	5,480,300	5,890,400	63,572,000	60,845,000	2,727,000	
(2) 経常費用								
事業費	51,905,044	2,804,409	4,824,409	0	59,533,862	55,210,212	4,323,650	
役員報酬	750,000	150,000	150,000		1,050,000	1,029,000	21,000	
給料	6,519,375	1,303,875	1,303,875		9,127,125	6,419,000	2,708,125	
諸手当	2,622,500	524,500	524,500		3,671,500	2,475,000	1,196,500	
福利厚生費	2,243,625	409,125	409,125		3,061,875	1,436,000	1,625,875	
臨時雇賃金	9,100,000				9,100,000	4,886,000	4,214,000	
諸謝金	793,250	174,250	124,250		1,091,750	944,000	147,750	
賃金	289,000				289,000	3,379,000	△ 3,090,000	
旅費交通費	135,000	26,000	1,936,000		2,097,000	1,838,000	259,000	
交際費			54,000		54,000	13,000	41,000	
消耗品費	1,049,000		43,000		1,092,000	1,535,000	△ 443,000	
燃料費	407,000				407,000	469,000	△ 62,000	
食糧費	163,000		25,000		188,000	182,000	6,000	
印刷製本費	1,548,000	170,000	20,000		1,738,000	3,494,000	△ 1,756,000	
保険料	454,000				454,000	409,000	45,000	
通信運搬費	428,000		197,000		625,000	669,000	△ 44,000	
光熱水料費	1,957,680	13,440	13,440		1,984,560	1,794,000	190,560	
修繕費	688,000				688,000	1,089,000	△ 401,000	
消耗図書購入費	60,000				60,000	310,000	△ 250,000	
委託費	18,281,000				18,281,000	18,142,000	139,000	
使用料	776,000	25,000	16,000		817,000	792,000	25,000	
賃借料	1,426,000				1,426,000	1,315,000	111,000	
役務費	108,000				108,000	173,000	△ 65,000	
工事請負費	100,000				100,000	42,000	58,000	
原材料費	91,000				91,000	38,000	53,000	
租税公課	713,000				713,000	694,000	19,000	
運営助成金	170,000				170,000	120,000	50,000	
消耗什器備品費					0	374,000	△ 374,000	
商品仕入費					0	450,000	△ 450,000	
広告宣伝費					0	260,000	△ 260,000	
減価償却費	1,032,614	8,219	8,219		1,049,052	440,212	608,840	
管理費	0	0	0	4,284,846	4,284,846	3,300,968	983,878	
役員報酬				400,000	400,000	321,000	79,000	
給料				1,303,875	1,303,875	860,000	443,875	
諸手当				524,500	524,500	292,000	232,500	
福利厚生費				409,125	409,125	202,000	207,125	
諸謝金				74,250	74,250	23,000	51,250	
旅費交通費				282,000	282,000	76,000	206,000	
交際費				70,000	70,000	27,000	43,000	
消耗品費				150,000	150,000	239,000	△ 89,000	
燃料費				6,000	6,000	10,000	△ 4,000	
食糧費				36,000	36,000	15,000	21,000	
印刷製本費				21,000	21,000	35,000	△ 14,000	
保険料				13,000	13,000	20,000	△ 7,000	
通信運搬費				340,000	340,000	190,000	150,000	
光熱水料費				13,440	13,440	15,000	△ 1,560	
修繕費				13,000	13,000	70,000	△ 57,000	
消耗図書購入費				63,000	63,000	0	63,000	
委託費				60,000	60,000	116,000	△ 56,000	
使用料				98,000	98,000	200,000	△ 102,000	
賃借料				68,000	68,000	136,000	△ 68,000	
役務費				53,000	53,000	53,000	0	
租税公課				139,000	139,000	137,000	2,000	
負担金支出				123,000	123,000	104,000	19,000	
消耗什器備品費				0	0	129,000	△ 129,000	
減価償却費				24,656	24,656	30,968	△ 6,312	
経常費用計	51,905,044	2,804,409	4,824,409	4,284,846	63,818,708	58,511,180	5,307,528	
当期経常増減額	▲ 4,248,044	▲ 1,739,891	▲ 655,891	▲ 1,605,554	▲ 246,708	2,333,820	▲ 2,580,528	
他会計振替額	923,355	▲ 769,024	▲ 154,331		0			
当期一般正味財産増減額	▲ 3,324,689	970,867	501,560	1,605,554	▲ 246,708	2,333,820	▲ 2,580,528	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高								